

施設関係者評価委員会議事録

令和5年11月1日

13時～14時

浦堂認定こども園

参加者：清水小学校校長 高畑亜津子先生

(株)未来共育学園代表 上坊由美子先生

摂津峡認定こども園園長 清水百合先生

職員 向井ひとみ先生

2023年浦堂認定こども園保護者会会長 井田奈津代さん

浦堂を愛する会代表 中野美保子さん

開会の挨拶後、所属とお名前を紹介し、公開保育見学のためホールに移動。

ホールにて、ビジョントレーニングの子どもの様子を見てもらい、職員の関りも見学いただく。

見学後、サークル型に配置した椅子に座り感想を聞く。

●一人一言今の気持ち

- ・高畑 違う世界を見てみたい。
- ・清水 目と頭と手との共用、自園との違い。
- ・向井 ビジョンの様子を見て持ち帰りたい。
- ・井田 保育士をしていたので、グレーゾーンの事を勉強したい。
- ・上坊 この10年で1000人以上見せてきている。発達の違いがある子は目の動きが無い子形だけでないビジョン、正しいビジョントレーニングが広まることを望んでいる。
- ・心子 大切な本質に取り組んでいるか・・・。
- ・中野 スクールソーシャルワーカーしています。

●初めに園長より

- ・初め上坊先生のところに見学に行った際小学生向けだった。
- ・1週間に15分だが意味のある事。

●感想のシェア

清水

- ・浦堂も摂津峡も元気だな。
空間認知の力。体感。身体能力の高さ。運動能力の高さ。自分の体の事を知っていることも大切。

井田

- ・一人ひとりの違い。シールをタッチするスピードの違い。
トレーニングの中で変わってくるのであればすごい事。

高畑

- ・子どものけがが増えている。

どんくさいけが、周りを観れていない事。体感。座ってられない子が増えている。

向井

- ・目が動く・・・楽しい・・・取り組める。

眼を動かすことの大切さ。

- ・周辺視野・・・見える範囲が広がる
- ・楽しくトレーニングしながら、育つ。少しの時間。一つの事から取り組めることが良い。

上坊

- ・幼児でやっていることが、学びになった。
- ・小学生が多く来ているので、しんどくなった状態で受け入れている。
入学前にチェックが受けれることが理想。
- ・5歳児でやっていることが工夫されていてよかった。あの短時間での運動量はすごい。
- ・探す、見る、周辺視野。瞬間の判断力。ルールが守れる。
- ・座っていてもできることもあるのでそれも取り入れられたら。(あっちむいてほい)
- ・大人の方のセミナーもあっちむいてほいをする。笑う事で脳が活性化させられる。メンタルがプラス。
- ・授業のはじまりの2・3分取り入れてもらえることで、変わってくる。
- ・コロナの事で、ゲーム時間ふえ、外遊びが激減している。視野もきゅっと狭くなっている。
- ・プログラムは工夫して良い。
- ・宝探し・・・様々な中から目的の物を探す。=目を凝らす。

心子

- ・困っている子のためのビジョントレーニングだけではない事。
- ・現場でやる、子どもが静かにして聞きことが目的ではない。
- ・諸外国はホクトメトリスト。専門性。
アスリートの為の目の鍛えは、脳を鍛える。

発達課題を克服できる。思ったことが言える。目が動く、思考力が育つ、観察力育つ、視野が広がる、情報量が増える。メンタルとビジョン。すべての人にとって良い事。

- ・ビジョンは18歳くらいがピーク。変な癖がつかないうちに。
- ・けがしていると手当とする。目は見えない為、対処しないことが多い。
- ・早く気が付いてほしい。
- ・就学前検診でビジョントレーニングのチェックが受けられること。(大阪市)
- ・大東市では通級でビジョントレーニングを取り入れている。

清水

- ・小学校に上がるまでに育てたい力「わかる」「ビジョントレーニング」
一人ひとりに合わせた取り組みをされている事が力になっていく。
- ・小学校で勉強に向かうように、ビジョントレーニングを行っている。
- ・一人ひとりに向けての課題が違うように、一人ひとりのやるべきことが違う。

高畑

・高槻市はビジョンに特価していないが、普通学級に支援の子が入っていることを取り組んでいることがパイオニア。

井田

- ・小学校に入る前からビジョントレーニングをしていることは、先生にとってもよい。

●最後に一言

高畑

- ・情報がたくさんでどう整理をしようかな。通級の先生や、支援の先生に伝えたい。

清水

- ・摂津峡でもやってもらっているが、ボール遊びしているのか……。との感じだった。
上坊先生からの話を聞いて、より理解できた。

向井

- ・3歳児のクラス担任をしていて、シール遊びをしている中で取り入れられるのかな？
落ち着かない子をしっかり見ることをしていく本を読んで取り入れていきたい。

中野

- ・青という字の上部分が2本か3本かわからない子。
ダブって見えているかも。『なぜ、ダブって見えるの?』の本が出ている。

心子

- ・子ども理解をする事。子どもの事をわかろうとしないとイライラしてしまう。
その一つの手法として、ビジョントレーニングを大切にしたい。

井田

- ・浦堂で上坊先生の講演を保護者にしてもらえるとよいのでは？
園だけでなく、家でもしている方が増えればよいのでは？
素晴らしい時間をありがとうございました。

上坊

- ・勉強になった。あの年齢であの時間の子どもたちの活動ができる事すごい。
- ・浦堂の子どもたちの体幹のすごさがあるから、取り組んでもすぐに反映される。
- ・色んな細かい所に配慮されていてよかった。
- ・先生たちが付かれている。退職したい人があふれている。
- ・高齢化の社会でも目のトレーニングは必要。家族でビジョントレーニングをできるとよい。
- ・『魔法のしたじき』ザラザラしている下敷きを使う事で、記憶できる。・・・書くたびに脳に刺激が行くので記憶できる。
- ・絵の中で見つける（右脳）。数字で見つける（左脳）。
- ・『スピードレシピ』も脳トレに良い。
- ・いいださとし 『お家で簡単ビジョントレーニング』
- ・はみ出さない塗り絵
- ・動く目。見続ける目。観察する目。どれも大切。

中來田（ビジョン担当）

- ・まだまだ勉強中。振り返りの中で伝えていけたらよいが、まだまだだなと感じている。

- 思考を柔軟に。じゃんけんゲーム、相子はパク。勝ったものを言う。
- 土曜日に親子向けに講座。希望者向けに。上坊先生の解説。
年長対象、3.4歳児の方も参加希望の方。